

第 3 4 5 回
日 本 泌 尿 器 科 学 会 新 潟 地 方 会
《 プ ロ グ ラ ム 》

日 時：平成 2 0 年 3 月 8 日 (土) 午後 3 時 0 0 分
会 場：イタリア軒 5 階 『春日の間』
新潟市中央区西堀通 7 025-224-5111

次回 第 3 4 6 回新潟地方会予告

期日：平成 2 0 年 6 月 1 4 日 (土)

会場：山梨大学担当 (三大学合同地方会)

演題申込期限：平成 2 0 年 4 月上旬

※ PC 発表のみです。

※ 口演時間は、1 題 7 分。討論 3 分

951-8510 新潟市中央区旭町通 1 の 7 5 7

新潟大学医学部泌尿器科学教室内

日本泌尿器科学会新潟地方会

会長 高 橋 公 太

TEL : 025 (227) 2289 / FAX : 025 (227) 0784

15:00～16:40

座長 谷川俊貴

1. 2007年の手術統計

新潟済生会第二病院 安藤 嵩、車田茂徳、吉水 敦

当院における2007年の手術総数は延べ1152件であった。主な手術はHoLEP 164件、TRUS 157件、PNL 97件、TUL42件、ESWL 337件であった。4月から腹腔鏡下手術も開始し、7件施行した。当院では仙骨麻酔による手術、検査を施行しており、最近では HoLEP の補助麻酔として行っているのもこれについても併せて紹介する。

2. 当科の2007年の手術統計

JA新潟厚生連刈羽郡総合病院 武田啓介、羽入修吾

2007年の症例数は延314例・374件で、数は2004年から横ばいであった。中越沖地震の影響で7-8月が例年より少なかった。前立腺針生検が98件、TURPが59件と多いため、前立腺の手術が44%、70代男性が33%を占めた。悪性腫瘍開腹術は17件、うち根治的前立腺摘除術が7件で最多であった。研修医の指導に重点を置いているため、執刀は後期研修医が70%を占めた。

3. 2007年度手術統計と死亡症例の検討

新潟労災病院 信下智広、小池 宏

当院は、週2回(月曜日、木曜日)の手術日があるが、木曜日に主に全身麻酔が必要な手術を行っている。2007年4月から2008年2月までの11ヶ月間の当院の手術状況について検討する。また、同時期の死亡症例についても考察する。

4. 平成19年の当科における手術統計

長岡赤十字病院 村山慎一郎、小林和博、米山健志、森下英夫

平成 19 年の当科における麻酔を要する手術(前立腺生検を含む)は 614 件であった。他に、ESWL は 293 件であった。麻酔や手術の内訳を含め、報告する予定である。また、当院では平成 18 年には常勤麻酔医が 6 名いたが、平成 19 年末では 3 名にまで減少した。麻酔医数の推移と近年の手術件数・内訳の変化を併せて報告する予定である

5. 新潟大学医歯学総合病院泌尿器科における平成 19 年度手術統計

新潟大学大学院腎泌尿器病態学分野
新井 啓、石崎文雄、谷川俊貴、高橋公太

平成 19 年度の手術総数は 376 件と前年(469 件)より減少している。密封小線源治療導入による手術枠の減少、他手術室での予定手術受け入れが厳格になった事によると思われる。

6. がんセンター新潟病院における 2007 年の手術統計

新潟県立がんセンター新潟病院
若月俊二、小松原秀一、斎藤俊弘、北村康男

2007 年における手術件数は 970 件、患者数も 943 名と一昨年、昨年に比較して、増加の一途をたどっている。当科での手術の特徴、増加の要因について、検討する。

7. 長岡中央総合病院 2005～2007 年手術統計

長岡中央総合病院 高橋英祐、照沼正博

当院の2005～2007年の手術統計を報告する。手術症例数は2005年590例、2006年680例、2007年620例、計1890例(2003件)であった。手術件数順に前立腺生検687件、ESWL353件、TUR-BT315件、TUR-P99件、腎盂尿管鏡42件であった。主な手術の件数は副腎摘出術6件、(うち腹腔鏡手術2件)、根治的腎摘出術35件、腎部分切除術7件、腎尿管全摘出術11件、膀胱全摘出術8件、前立腺全的術41件であった。

8. 前立腺肥大症に対する経尿道的前立腺切除術における生理食塩水灌流下

TUR (TURis) システムの有用性の検討

新潟県立新発田病院 波田野彰彦, 小松集一, 若生康一, 滝沢逸大, 丸山 亮

2006年11月から2007年12月までの間に前立腺肥大症に対してTURisを施行した59例中, 手術終了直後に血清Na濃度, 血中Hb値を測定した30例を対象に手術時間, 切除重量, 手術前後のNaとHbの変化について検討した. 比較対象は2005年8月から2007年12月に施行した従来の非電解質液灌流下TUR-P症例75例中, データ比較可能な32例とした. 患者年齢, 手術時間, 切除重量, 手術前後でのHbの変化は両群で差を認めなかったが, Naの変化はTURis群で $-0.9 \pm 3.4 \text{mEq/l}$, 従来群で $-10.2 \pm 6.7 \text{mEq/l}$ と有意差を認め, TURisの有用性が示された.

9. 精巣捻転におけるBell-clapper Deformity について

JA 新潟厚生連 刈羽郡総合病院 羽入修吾、武田啓介

精巣捻転では新生児期を除けば全てBell-clapper Deformity (BCD)という形態異常があり、鞘膜内で発生する。BCDには正常に近い中間型もあり、中間型でも精巣捻転を起こす。当科の精巣捻転20症例で精巣の状態を調べた。患側精巣のBCDは完全型90%・中間型10%、対側精巣では完全型40%・中間型35%・正常型25%であった。精巣捻転の治療では対側精巣のBCDを確認し、必要に応じて精巣固定術が必要である。

10. 新潟県における平成18年度前立腺がん検診の結果報告

新潟県前立腺がん検診検討委員会
小松原秀一、西山 勉、森下英夫、片山靖士、
羽入修吾、片桐明善、波田野彰彦、斎藤俊弘

平成18年度の前立腺がん検診は対象者 190,213 名のうち 33,158 名 (17.4%) が受診した。3,026 名が

PSA 高値により要精検とされ、2,101 名(69.0%)が精検(2 次検診)を受けた。前立腺がんと診断されたのは 255 名で、うち 63.8%が病期 B(局所限局がん)であった。

16 : 40 ~ 17 : 00 【日本泌尿器科学会新潟地方会総会】

[休 憩 17 : 00 ~ 17 : 20]

お 知 ら せ

日本泌尿器科学会専門医・指導医に必要な新潟地方会参加証は、地方会当日受付に用意してありますので、必要な先生は受付に申し出て下さい。

サ テ ラ イ ト セ ミ ナ ー

日 時 : 平成 20 年 3 月 8 日 (土)

17 時 20 分 ~ 18 時 30 分

会 場 : イタリア軒 5 階 『春日の間』

17時20分～17時30分

〈製品紹介〉

「選択的 α 1A遮断薬 ユリーフカプセル の最近の話題」

第一三共株式会社 甲信越支店
新潟第二営業所 山岸 学

17時30分～18時30分

〈特別講演〉

座長 新潟大学大学院 腎泌尿器病態学分野 教授 高橋 公太先生

「小児下部尿路通過障害」

北海道大学大学院医学研究科
腎泌尿器科学分野 教授 野々村 克也 先生

共催 日本泌尿器科学会新潟地方会
第一三共株式会社

※ サテライトセミナー終了後、2階 ローザにて懇親会を行います。